



株式会社 新潟ケンベイSDGs宣言



オリジナルキャラクター
「ヨネオ」

当社は1983年に「感謝のところで社業に邁進し 明日への豊かな社会に奉仕する」の社是を制定し、誠実（真心）、和（信頼と協調）、躍進（自己啓発と企業発展）を念頭に置き、活動を行っております。これからもその心掛けを日々の活動の中で実践し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2022年11月22日
株式会社 新潟ケンベイ
代表取締役社長 山崎 正敏

項目	項目のテーマ	テーマにおける重点的な取り組み	内容	SDGsゴール
地球・環境	自社の商品が作られてからお客様の手に届き消費される間の環境負荷を軽減します。	無洗米の製造並びに販売	製造工程で工業排水が出ない方式を採用しています。お米を研ぐ必要がないので、生活雑排水を抑制し環境を保護します。	14 海洋資源の持続可能な利用、12 持続可能な消費と生産、6 安全な水と衛生
		特別栽培米の取り扱い	農薬の使用量を制限したお米を積極的に取り扱うことで、生態系の破壊を抑制しています。	15 陸域生態系の保護、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費と生産
		環境配慮型米袋への取組	多くの商品（米袋）に使われるプラスチックを減量化する取り組みを進めています。	12 持続可能な消費と生産、13 気候変動への対応、14 海洋資源の持続可能な利用
	二酸化炭素（以下：CO2）の排出抑制に取り組んでいます。	燃料転換による環境保全	お客様へCO2排出量の少ない燃料を提案しています。また、酸性雨の原因となる物質の発生を抑制しています。	7 再生可能エネルギー、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動への対応
		配送効率化によるCO2排出量の削減	配送の効率化によって、CO2の排出量削減に取り組んでいます。また、運搬具等のEV化、ハイブリッド化を推進しています。	13 気候変動への対応、12 持続可能な消費と生産、7 再生可能エネルギー
		CO2排出量削減のための省エネ機器提案	お客様へ省エネ機器（高効率燃焼機器）の提案、普及促進を行っております。	13 気候変動への対応、7 再生可能エネルギー、11 持続可能な都市とコミュニティ
	省エネルギーや環境資源の保全に全社で取り組んでいます。	空調機器や電気設備等見直し並びに電力使用量の削減	省エネルギー化を目指し、エアコンの適切な使用や照明のLED化、こまめな消灯に全社的に取り組んでいます。	13 気候変動への対応、7 再生可能エネルギー
		資源の保全	ペーパーレス化や製造過程で利用するフレコンの再利用を行っています。また、名刺や封筒の再生紙使用やバイオマスインキの使用を進めています。	12 持続可能な消費と生産、9 産業、イノベーションとインフラ、13 気候変動への対応
	環境保全活動	朱鷺保護活動	「新潟県トキ保護基金」に2005年から「佐渡市トキ環境整備基金」には2008年から参加し朱鷺の保護活動を支援しています。	15 陸域生態系の保護、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費と生産
		中山間地水田維持の天水田米への取組	「天水田新潟県産 コシヒカリ」の活動で中山間地農業に付加価値を付帯することにより地域経済や森林資源の存続に寄与。また雇用創出なども促進します。	15 陸域生態系の保護、8 持続可能な産業とイノベーション、11 持続可能な都市とコミュニティ
社会・地域貢献	製造者として安全で安心な商品を提供するとともに、健康に寄与した商品を提供します。また、捨てるもののない製造フローを確立し、資源のロス削減を削減します。	FSSC22000の導入	安全な食品を作り続けるため、食品安全システム認証の規格を取得しています。	12 持続可能な消費と生産、3 健全な働き場
		米粉製品の販売	製造的視点では食品ロスをなくし、消費的視点では食物アレルギーへ配慮した「新潟のこめ粉」を販売しています。	2 持続可能なエネルギー、3 健全な働き場、12 持続可能な消費と生産
		製造の効率化	「旬表示」の利点を生かした計画的な製造や物流の効率化によるエネルギー削減・食品ロスの削減を行っています。	12 持続可能な消費と生産、2 持続可能なエネルギー、7 再生可能エネルギー
		ロス米の削減	フードロスに関する取組として、米粉・酒粉製品・米ぬか・碎米の販売により食品廃棄物の削減、飼料用米の斡旋販売により食料自給率の向上に貢献しています。	2 持続可能なエネルギー、12 持続可能な消費と生産
		技術開発・協力	ロングライフ商品や無菌米飯の販売による食品ロスの削減や、バイオマス原料への提供やその仲介を行っています。	9 産業、イノベーションとインフラ
	地域に根差した企業として、地域へ様々なアプローチを行っています。	こども食堂や子育て支援事業への参加	食を通じ、地域の健康に貢献しています。	1 貧困をなくそう、2 持続可能なエネルギー、3 健全な働き場
		行政や法人（協会）などと連携した地域活動	地元密着の業態を生かし、地域の暮らしを守る様々な活動に参加しています。	3 健全な働き場、10 公正な社会と包摂、11 持続可能な都市とコミュニティ
		「にいがた『観光振興』応援私募債」寄附	手数料の一部が地域の観光振興支援に充てられる「地域応援SDGs 私募債」を活用し、間接的な地域貢献に協力しています。	11 持続可能な都市とコミュニティ、8 持続可能な産業とイノベーション
	あらゆる方法で新潟の伝統を継承する活動に取り組んでいます。	地域の伝統行事への協賛	地域貢献活動の一環として長岡花火や小千谷花火、新潟まつりなどに協賛しています。	11 持続可能な都市とコミュニティ
		様々な媒体を通じた「米」にかかわる情報発信	情報誌やSNSを通じた米に関する知識の発信や大学生との連携、特別講義などを行い知識や発想の情報交換を行っています。	11 持続可能な都市とコミュニティ、8 持続可能な産業とイノベーション、4 質の高い教育をみんなに
企業・人権	社員を守るための体制づくりに努めています。	健康を守るための環境づくり	法規である健康診断やストレスチェックはもちろんのこと、インフルエンザワクチンへの補助制度やAEDの設置などを進めています。	3 健全な働き場、8 持続可能な産業とイノベーション
		各種ハラスメントに対する制度	現状、相談窓口を設けていますが、さらにハラスメント抑制の完全性を高める制度の策定を検討します。	10 公正な社会と包摂、5 ジェンダー平等をすすめる、8 持続可能な産業とイノベーション
	綿密なコミュニケーションや、働きやすい環境を促進しや社員のスキルアップを図ります。	人事考課制度	透明性の高い評価制度が実施されており、評価制度やその評価基準などについて年々より良いものを目指し、見直しを行い全社へ導入されています。	8 持続可能な産業とイノベーション、10 公正な社会と包摂
		社内外での教育制度や資格取得制度	社員のスキルアップ施策や自己啓発の観点から資格取得を支援する制度が整っています。	8 持続可能な産業とイノベーション、4 質の高い教育をみんなに
自己申告書制度	現在の業務に関する状況やキャリアビジョン、悩みなどの情報を交換し改善する機会を設けています。	8 持続可能な産業とイノベーション、16 平和と公正な社会、3 健全な働き場		



持続可能な開発目標 (SDGs) とは、

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、政府、企業、地域社会のあらゆる人が取り組んでいます。